

## 事業実績報告書

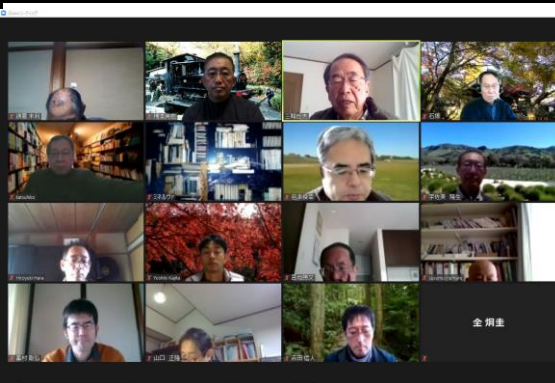
様式 2  
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-55	講座名	ごきそテクノカフェ
記載日	2021/3/21	団体名・企業名	名古屋工業大学ごきそ技術士会

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

ごきそテクノカフェは、市民と技術者が環境問題やSDGsを切り口に、気軽に話し合うことのできる場を提供している。2020年度後期のごきそテクノカフェは、コロナ禍の中、2020年前期に引き続き、全6回をzoomを利用したオンライン開催とした。特に10月のオープニングは、名古屋工業大学社会工学科環境都市分野の増田理子教授をお迎えし、生物の進化という切り口から環境問題、コロナ問題についてご講演頂き、対話の場を設けた。10月のみ、名古屋工業大学からの配信で、JR鶴舞駅高架下商店街の喫茶サンデンでのサテライト開催とzoomによるオンライン開催を行った。その後の5回がzoomによるオンライン開催のみであった。



### ※写真1の説明

zoomによるオンライン開催の画面

### ※写真2の説明

10月開催の名工大・増田理子教授による講義

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

2020年度前期の7月・9月の開催のオンライン開催においては、通信に問題が出たことや、オンライン特有の質疑応答に関わる問題など、様々なトラブル、不手際があったが、それらの経験が運営者側にノウハウとして身についたことで、後期の全6回はオンライン開催を順調に開催することができた。

これまでの取り組みにより、コロナ禍であっても、オンライン開催により市民の学ぶ場を提供することが実感できた。もちろん工夫もノウハウも必要で、2020年度後期は実施に手応えを感じることができた。また2019年までの対面開催のみのときよりも参加人数が2～3割増えている。

一方で、対面での開催を求める声は依然として強く、コロナ禍が収束したときにはメインを対面開催として、オンラインも併用する形にしたいと考えている。

### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

身近な話題のコロナウイルスの話を混じえ、わかりやすく説明していただいたと思います。

(10/17) 理解できなかったこともありましたが、多様性にも正負2面性があるという知が得ました。(10/17) 都市鉱山活用に関する議論が有意義であった。(11/21) 都市鉱山の意味が良くわかりました。(11/21) SDGSと都市・地方創成の問題、新型コロナの現状とその影響等広範囲の内容が分かり易く、説明されて大変参考になった。(12/19) アルミ資源に関する動向を知ることができた。(1/16) 水の浄化技術について、状況が把握できた。(2/20)

●団体紹介 名古屋工業大学ごきそ技術士会

団体所在地	〒480-1138		
	長久手市西原山4番地6 橋本方 名古屋工業大学ごきそ技術士会事務局		
連絡担当者	橋本 英樹	ウェブサイト	<a href="http://www15.plala.or.jp/hidekih/nitpe/">http://www15.plala.or.jp/hidekih/nitpe/</a>
TEL	090-4863-8755	FAX	
E-mail	<a href="mailto:h.hashimoto.085@nitech.jp">h.hashimoto.085@nitech.jp</a>	携帯電話	090-4863-8755
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
<p>名古屋工業大学ごきそ技術士会（略称：ごきそ技術士会）は、名古屋工業大学出身で「技術士」の資格を持つ技術者の有志が結集し、名古屋工業大学への教育支援や会員の職務能力向上を通じて社会貢献を果たすため、2010年6月に設立されました。</p> <p>技術士とは、科学・技術に関する技術的専門知識と高等の専門的応用能力、そして豊富な実務経験を有し、さらに公益を確保するため、高い技術者倫理を備えた技術者の国家資格です。</p>			

●講座開催情報

第一回	講座名	コロナ禍での生物多様性の維持機構とSDGs	開催日	10月17日	土
	講師名	増田理子	参加人数	19	名
	内容	グローバル化が新型コロナウイルスの拡散と人々の活動に変化をもたらした。それが生物多様性に与える影響について考えてみる。			
第二回	講座名	産業界の異次元のSDGsプロジェクトの提言	開催日	11月14日	土
	講師名	鈴木克彦	参加人数	17	名
	内容	生産システムへの視点から産業のリフレッシュ化をSDGsへ繋げる試みとして「都市鉱山」開発を考える。			
第三回	講座名	持続可能な都市の実現に向けた提言	開催日	12月19日	土
	講師名	三輪哲夫	参加人数	17	名
	内容	公共交通網を軸としたTODによる中心市街地開発や高齢者、交通弱者等をカバーする交通システムなどの提言。			
第四回	講座名	アルミ缶リサイクルを技術輸出する試み案の検討	開催日	1月16日	土
	講師名	犬丸晋	参加人数	17	名
	内容	アルミリサイクルの現状分析をふまえてリサイクルプロセスと生産システムの東南アジアへの移転を構想する。			
第五回	講座名	安全な水とトイレを世界のみんなに届けたい	開催日	2月20日	土
	講師名	中川勝統	参加人数	19	名
	内容	飲水とトイレの世界の現状と未来の話です。そして私たち一人ひとりが今できることについて考えましょう。			
第六回	講座名	コロナ禍の只中で古代鉱毒の技術史を探訪する	開催日	3月20日	土
	講師名	打田憲生	参加人数	20	名
	内容	巨大大仏の遺構群の踏査をふまえ、技術の国際化が招いた奇病の謎を探り社会的にとられた対策を検証する。			